

医師の異動（6月）

- 着任（令和5年 6月 1日付） 呼吸器外科部長 おくの しょうこ 奥野 翔子
- 退職（令和5年 5月 18日付） 眼科主任部長 清水 久雄

“湖北がんフォーラム 2023”の開催について

【湖北がんフォーラム 2023】

開催日時：令和5年7月9日（日）13：30～16：00
テーマ：「超高齢社会におけるがん患者を支える取り組み」
会場：長浜文化芸術会館 大ホール
内容：

第1部 講演1 松井善典 医師 浅井東診療所 所長
講演2 辻 喜久 医師 滋賀医科大学附属病院

第2部 パネルディスカッション

「超高齢社会とがん患者を支える取り組み」

パネリスト

松井善典 医師 浅井東診療所
辻 喜久 医師 滋賀医科大学附属病院
福永佳子 MSW 長浜赤十字病院
河野智一 看護師 長浜病院訪問看護

ステーション



滋賀県健康づくりキャラクター
しがのハグ&クミ

お知らせ

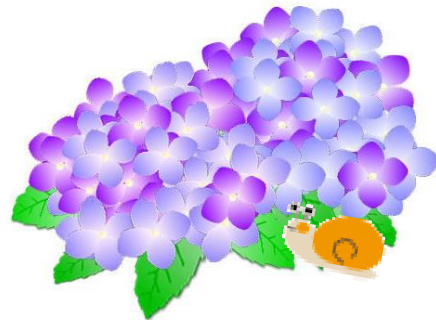
■ 地域連携予約受付業務について

令和5年4月より毎週木曜日は17時にて地域連携予約受付業務を終了させていただいております。FAXは稼働いたしておりますが、お返事は翌日にさせていただきます。緊急時は当院救急へご連絡ください。

また、時間外の受付業務については、職員一人に対応しておりますので大変ご迷惑、ご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力方よろしくお願い申し上げます。

■ 編集後記 ■

新型コロナウイルスも5類に移行され1ヶ月近く経過しましたが、私の周辺では大きな変化を感じることは少ない感じです。これから夏になるにつれ心もどんどん開放に向かいますが、真の開放にはまだまだ時間がかかりそうな気が…。



市立長浜病院 地域医療連携だより

令和5年6月1日号
No.219

理念
地域住民の健康を守るため、
「人中心の医療」を発展させ、
地域完結型の医療を推進します。

市立長浜病院
患者総合支援センター 地域医療連携室
〒526-8580 長浜市大茂亥町 313 番地
TEL：0749-65-2720
FAX：0749-65-2730
http://www.nagahama-hp.jp/

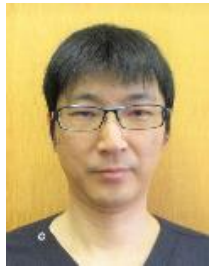


救急告示病院
日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療連携拠点病院
厚生労働省臨床研修指定病院
周産期協力病院
地域医療支援病院

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。6月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

当院の脳神経外科について

脳神経外科責任部長 堀口 聡士



当院は京都大学医学部附属病院脳神経外科の関連施設です。日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、脳卒中の外科学会技術認定医・指導医、日本神経内視鏡学会技術認定医が在籍しています。

一次脳卒中センター(PSC)として認定を受けており、急性期脳梗塞に対するt-PA静注血栓溶解療法および脳血管内治療による急性期血栓回収療法に対応できる医療機関です。脳卒中は、時間の経過とともに悪化する可能性があるため、迅速な診断と治療が必要です。当院では、医師や看護師がチームとなって、迅速かつ正確な診断と治療を行い、患者さんの早期回復を目指しています。

当院では今年4月より「脳卒中相談窓口」を設置し、当院に入院したことがある脳卒中患者に対する対応を開始しました。この相談窓口では、脳卒中の後遺症や再発予防についての相談に応じています。また、患者さんが退院後も、定期的なフォローアップやリハビリテーションのサポートを行っています。

脳動脈瘤に対しては、開頭手術による脳動脈瘤頸部クリッピング術、または血管内治療による脳動脈瘤コイル塞栓術を、動脈瘤の部位、形状、および病状などに応じて適切な治療を検討し適応しています。脳内出血には内視鏡下血腫除去術も行っています。

脳腫瘍は手術療法を主軸として、化学療法、放射線治療も必要に応じて追加します。また、下垂体腺腫、頭蓋底腫瘍に対する経鼻内視鏡手術や脳室内腫瘍に対する神経内視鏡手術を行っています。神経内視鏡は、従来の手術法に比べ、術野が明瞭に視認できる利点があり、また患者さんの負担を軽減することができます。当院の脳神経外科では、患者さんの症状や病状に合わせた最適な手術方法を選択し、安全かつ確実な手術を行っています。

急性期診療以外にも、不随意運動症、疼痛、てんかんなどを電気刺激で制御する機能脳神経外科、リハビリテーション科と脳神経外科外来の協力の下で慢性期維持リハビリテーション入院、脳血管障害後の自立のために自動車運転機能の短期入院評価も行っています。

当院の脳神経外科は、地域の皆さまに信頼される医療機関として、より良い医療を提供するため、日々努力してまいります。

着任のご挨拶



このたび事務局長に着任しました米田裕治です。これまでの市職員経験の中で病院事業に携わることには初めてではありますが、市立長浜病院の理念であります「人中心の医療」、地域完結型の医療を進めるため精一杯取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて、3年余りに渡り市民生活に大きな影響を及ぼしたコロナとの戦いは、去る5月8日に感染症法上の位置づけが5類に移行されたことにより、社会・経済活動の正常化に向けた一つの区切りとなりました。しかし、医療現場においては今後医療逼迫が起きずに医療が安定提供できてはじめて移行が成功したことになります。今後も一層の地域の皆様との連携が重要となってまいります。

当院は、地域完結型の医療を、医療・福祉の関係者はもとより、地域の皆様と一緒に取り組んでおります。引き続き、地域での医療福祉の推進に尽力してまいりますので、皆様のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

事務局長 米田 裕治



地域医療連携室長 嶋 吉夫 (事務局担当部長)



令和5年4月から、事務局担当部長兼患者総合支援センター管理監兼地域医療連携室長の拝命を受けました嶋吉夫でございます。これまで、市立長浜病院では、医事課長、事務局理事等を経験させて頂きました。これまでの経験をいかしながら、地域の医療・福祉関係機関の皆様方のお力添えを賜りながら、当院の理念であります 地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を発展させ、地域完結型の医療を推進させて頂きたいと考えています。

コロナ禍におきましては、長浜市・米原市からのワクチン接種要請に基づき迅速にワクチン接種を開始し、現在も副反応等により病院での接種が望ましい方を対象に開業医様からの紹介による接種を継続させて頂くと共に、地域外来検査センターにつきましても、地域ニーズや感染症の情勢を見極めながら、地域の先生方のご協力を賜りながら開設させて頂きました。5月8日から5類に移行はされましたが、今後の感染状況等につきましても予断を許さない状況であり、今後とも「地域支援病院」として並びに「公立病院」として期待される使命を認識しながら、必要な医療の実施に備えさせて頂く所存でございます。

そのためには、地域の医療・福祉施設等関係機関の皆様方との連携と共にご意見や情報が重要となっておりますので、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

臨床研修医のご紹介

研修医 大西 航平



今年度より初期臨床研修医として市立長浜病院に勤務させて頂きたく大西航平と申します。これから2年間の研修生活で、素直に学ぶ姿勢を忘れずに地域の皆様や周囲の医療従事者の方々から信頼していただける医師を目指して精進して参ります。

県外出身者ではありますが、長浜市の地域医療の一端を担えるよう精一杯尽力させて頂きたくしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

研修医 小笠原 究



令和5年度より臨床研修医として勤務させていただきます小笠原究と申します。北海道札幌市の出身で、北海道大学卒業です。

研修医としての2年間で長浜のような過ごしやすい場所で送れることを大変嬉しく思います。

長浜とは縁遠い身ではありますが、未熟ながらこの地で精一杯医療に貢献していきたいよう精進していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

研修医 金井 克行



今年度より初期研修医としてお世話になります、金井克行と申します。

出身は東京都で、滋賀医科大学卒業です。

医師としても社会人としてもまだまだ未熟者で、至らぬ点も多くご迷惑をおかけするかと存じますが、湖北の医療に貢献できますよう精一杯努力していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

研修医 福森 強介



4月より臨床研修医として勤務させて頂きたく福森強介と申します。

大阪出身で、滋賀医科大学卒業です。市立長浜病院には学生時代の実習でもお世話になっていました。長浜の印象としましては伊吹山や琵琶湖をはじめとする雄大な自然に囲まれながらも、飲食店なども多くあり生活の利便性も兼ね備えているということでした。そんな長浜で勤務できることに感謝しつつ日々努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

研修医 廣田 涼也

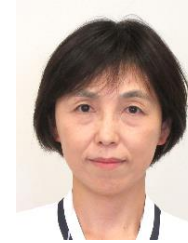


今年度より市立長浜病院でお世話になります、臨床研修医1年目の廣田涼也と申します。

私は滋賀県出身ではないですが、長浜市の住みやすさと市立長浜病院の雰囲気の高さに惹かれ、縁あって初期研修で勤務させて頂きたくになりました。

医師として、新社会人として新しく始まる生活に身の引き締まる思いですが、新しい仲間と共に成長できる環境には期待に胸を膨らませていきます。何卒よろしくお願いいたします。

地域医療連携室 参事 草野 美樹



平素より地域医療連携事業に格別のご配慮賜り、厚くお礼申し上げます。令和5年4月から、患者総合支援センター副センター長兼地域医療連携室参事を拝命いたしました。

市立長浜病院は、地域に根ざし地域に愛される病院として70年以上の歴史があります。変化する社会情勢や医療・保健・福祉のニーズに対応し、平成29年4月から地域医療事業部から患者総合支援センターになりました。病院の理念である地域の医療機関や福祉関連機関と連携し、患者さんが地域で安心して療養生活を遅れるよう、通院から入院、退院まで切れ目ない調整や支援をしています。外来受診時から入院後および退院後を見据えた上で、患者さんご家族の方を在宅および地域にスムーズにつなげるため、早期に情報収集、情報共有、連携をしながら地域連携スタッフが丸となって取り組んでまいります。

5月8日より新型コロナウイルス感染症も5類になり、徐々にではありますが、地域の皆様との顔の見える関係づくりを大切にしていきたいと考えております。今後とも地域医療連携にご指導ご支援をよろしくお願いいたします。



地域医療連携室 MSW 浅原 智絵



今年度より社会福祉士として入職致しました浅原智絵と申します。これまで急性期や回復期、療養病棟のある病院で医療ソーシャルワーカーとして勤務してきました。

関係機関の皆様と先輩の方々が良好な関係性を築かれて患者様、ご家族の療養生活を支えてこられたことを日々感じながら業務にあたっております。

急性期や回復期、療養等多機能の医療機関の医療ソーシャルワーカーとして湖北圏域、周辺住民の皆様がよりよい療養生活を送れるよう支援してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

研修医 篠原 三奈

今年度、市立長浜病院の初期研修医となりました、篠原三奈と申します。25歳になり初めてこの滋賀県長浜市を訪れました。

それまで(北から)栃木・埼玉・東京・京都・大阪と、その土地その土地で、夢を応援して下さる先生方・同期・先輩・後輩・その他多くの方々から恵まれ育ちました。

私はまだまだ未熟者ですが、皆さんと一緒に、この街の医療に貢献したいと思っています。宜しくお願い致します。

